

2021 年度学位記・修了証書授与式 理事長祝辞

東京理科大学を卒業、修了される皆さん、本日はおめでとうございます。学校法人を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんはこの東京理科大学で、友人や先輩、教職員など、多くの人に支えられながら切磋琢磨して、創立以来、実力主義を貫いている本学の学部、大学院、専攻科の課程をそれぞれ修了し、本日学位記、修了証書を授与されることとなりました。理事長として大変うれしく思っています。

長い間、皆さんを温かく支えてくださった、本日は会場で、或いは配信映像によってご覧頂いているご父母やご家族の皆様にも、皆さんの卒業・修了をさぞお喜びのことと、改めてお祝い申し上げます。

皆さんが東京理科大学で過ごしてこられたかけがえのない日々は、勉学や研究、課外活動など様々な取り組みに邁進する、大変忙しく、密度の濃い充実した年月だったことと思います。また、ここ2年間は新型コロナウイルスの感染対策のため、学内外とも通常とは全く異なる環境の中で多くの困難に直面しながらも、それを見事に乗り越えて大きく成長してこられた皆さんに、改めて敬意を表します。

皆さんもご存じのように、東京理科大学は昨年創立140周年を迎えました。140年前といえば、日本はまだ明治時代が始まったばかりで、近代化を目指す社会改革が急ピッチで進められていました。そんな中、今の皆さんとほぼ同年代の21名の若き学徒たちが、日本語で理学を教える事で未来を担う優れた人材を広く育てていこうと開校したのが、我が東京理科大学の始まりです。当時、日本にまだ一つしかなかった大学で、外国人講師からフランス語で理学を学んだばかりの彼らが、私財を投じ、足りない実験器具や装置などを大学から借りてきて、仕事の後の夜間に講師役を担い学校を運営していくのは、並大抵ではないほど大きな困難を伴った事でしょう。しかしながら、精力的にその活動を継続することができたのは、彼ら創設者たちが、自分たちに学ぶ機会を与えてくれた環境への感謝と、なにより「これからの時代は理学なくして国の発展はあり得ないからこそ、広く国民に理学を普及させたい」という、熱い思いと理想が胸の内にあったからでした。

それ以降、多くの高い志のある皆さんの不断の努力が代々受け継がれてきたことで、140年の長きにわたり教育活動が継続され、東京理科大学は大きく成長し現在の姿となりました。その間、約22万人の方が本学を卒業され、今に至るまで教育、産業、行政など多岐にわたる分野で幅広く活躍し、これまで科学技術立国としての日本の成長を支え、また世界的な規模で人類社会の発展に貢献してこられました。今日からいよいよ皆さんもそのネット

ワークの一員に加わることを、同窓の一人として大いに歓迎いたします。

今我々は、2031年の創立150周年に向けて、「世界の未来を拓く理科大」を目指すことを目標の一つに掲げています。「世界の未来を拓く」、これは、卒業生の皆さんが世界各地で活躍するということだけではなく、国内においても、SDGsに代表される、気候変動や食糧、脱炭素と自然エネルギーなど、世界がグローバルに抱えている様々な課題の解決に向けて真摯な姿勢で挑戦する、そういった高い意識を持つ人材であって欲しいということも示しています。「世界の未来を拓く」、この言葉に込められた精神を理解して、今後も皆さんには理科大卒業生として、自信をもって存分に活躍していただきたいと思っています。

現在の日本を考えると、先行きが不透明で不安な世界情勢に加えて、長期にわたる経済の低迷が続いており、デジタルトランスフォーメーションやグリーン分野の成長を含め、科学技術をさらに推進し、イノベーション力を抜本的に強化することが必要とされています。今はまさに、社会が激動の変化を遂げた本学の創生期のように、社会の発展における科学技術の果たす役割がますます重要になっていると言えるのではないのでしょうか。

本学を卒業し、これから社会で活躍していく皆さんは、様々な場面で時に難しく、また厳しい決断が求められることがあるでしょう。しかしそんな時こそ、易きに流れるのではなく、たとえ、今は自分にとって少し困難に見えたとしても、自分が理想だと思える道に勇気を持って挑戦することで、その先の未来に予想外の大きな成果が得られるかもしれません。明治の初頭に、若き創設者たちが、その理想に向かって積み重ねた小さな1つ1つの歩みや挑戦が、140年後に、今日の我が大学のような形でその理想を結実させるとは、当時誰が想像したことでしょう。

本学で学び、創設者たちのDNAを受け継いでおられる皆さんも、つねに自分に与えられた学びの環境と周囲への感謝の思いや謙虚さを忘れず、そして何より、我々の専門分野である科学技術の発展によって、日本だけでなくこれからの世界の未来を拓くのだ、という気概を持って、堂々と進んで頂ければと思います。東京理科大学は、社会の中で切磋琢磨する皆さんの生涯の学びの場として、また、校友ネットワークの拠点として、いつでも皆さんに開かれています。これからも、未来に向かって共に成長して参りましょう。

最後に、皆さんが健康に留意され、これからの人生が心豊かな素晴らしい日々となりますことを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

2022年3月19日
学校法人 東京理科大学
理事長 浜本 隆之